

魚津市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

I 公共施設

E 社会教育・文化施設

4 埋蔵文化財調査室

令和5年3月改訂

魚津市

(所管部署：生涯学習・スポーツ課)

# 目 次

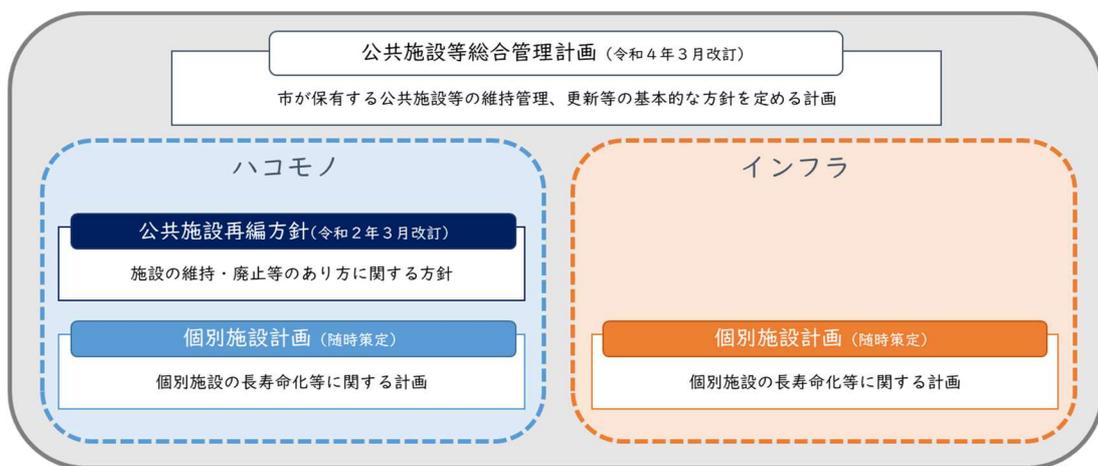
1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	
1. 1	策定の趣旨	P 1
1. 2	対象施設	P 1
1. 3	計画期間	P 1
1. 4	進行管理	P 1
2	施設の状況	
2. 1	老朽化の状況及び改修状況	P 3
2. 2	位置図	P 4
2. 3	施設の利用状況及び収支の状況	P 5
3	個別施設の方針	
3. 1	施設の役割	P 6
3. 2	現状と課題	P 6
3. 3	今後の考え方	P 6
3. 4	対策内容と実施時期	P 8
3. 5	対策費用	P 8

## 1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

### 1. 1 策定の趣旨

本計画は、魚津市公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂版。以下、「管理計画」という。）に基づき、施設類型ごとの具体的な方針や長寿命化計画などを示すものです。

#### 魚津市における公共施設等総合管理の概念図



### 1. 2 対象施設

対象施設は、管理計画における「社会教育・文化施設」の施設類型のうち、「埋蔵文化財調査室」とします。

### 1. 3 計画期間

当施設は、魚津市公共施設再編方針（令和元年度改訂版。以下、「再編方針」という。）には、中期（令和11年度）の目標年度が設定され、「当面は維持していくこととするが、施設の更新時期を見据えながら、小学校跡地等へ機能集約する。」とあり、歴史民俗博物館とともに機能集約、統合を検討することから、計画期間を令和5年度から令和11年度までとします。

#### 1. 4 進行管理

---

本計画に基づく進捗確認を毎年度行い、達成状況や財政状況などを踏まえて対策内容と実施時期を見直すことにより、計画的な改修等に努めます。

## 2 施設の状況

### 2.1 老朽化の状況及び改修状況

No	施設名称		建設年度	経過年数	構造 / 階層	延床面積 (㎡)	敷地面積 (うち借地) (㎡)	資産老朽化比率	劣化状況	改修状況		
										耐震化改修	長寿命化改修	
											屋根	外壁
1	埋蔵文化財調査室	事務所・作業室	H8	25	軽量鉄骨 / 2階	197.38	402.8 (0㎡)	83.3%	鉄骨部分腐食			鉄骨柱部分さび止め補修
		収蔵庫	H9	24	軽量鉄骨 / 1階	41.52						
	合計					238.90	402.8	80.7%				

※ 経過年数・資産老朽化比率等は、令和3年度末時点

## 2. 2 位置図



## 2. 3 施設の利用状況及び収支の状況

No	施設名称	利用状況（人）			収支（千円）											
		H30	R1	R2	R1				R2				R3			
					収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費	収入	支出	収支差額	【参考】 減価償却費
1	埋蔵文化財調査室				0	187	▲ 187	990	0	150	▲ 150	990	0	161	▲ 161	990

### 3 個別施設の方針

#### 3.1 施設の役割

当施設は、市内で実施された発掘調査等により出土した埋蔵文化財を管理、保存することを目的とし、発掘調査の際に出土した土器や石器等の洗浄作業や調査時の図面等の記録類の整理作業、調査報告書の刊行に伴う諸作業等を行っています。

#### 3.2 現状と課題

当施設は、平成9年2月に建設、同年10月に隣接して収蔵庫を増築した施設です。他の公共施設と比べ、構造的に簡易な建造物で、老朽化は進んでいます。

また、出土品の収蔵スペースや発掘調査における記録類、全国から当市へ寄贈される報告書等の図書類の保管スペースの余裕が少なくなっています。

そのため、短期～中期的期間で施設の集約を図る必要があります。

#### 3.3 今後の考え方

##### ①施設の方針（魚津市公共施設再編方針（令和元年改訂版）抜粋）

<b>&lt;再編方針&gt;</b>	目標年度：中期（R11）
○当面は維持していくこととするが、施設の更新時期を見据えながら、小学校跡地等へ機能集約する。	

##### ①対策の優先順位の考え方

基本的には、建築年度又は長寿命化改修実施年度からの経過年数が大きい施設から優先的に対策を実施するものとしますが、点検結果や施設の利用状況等の要因により実施時期が前後する場合があります。

また、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

## ②保有総量の抑制について

社会情勢の変化をふまえ、サービス水準を出来る限り維持しながら公共施設の総量を抑制するため、施設の維持更新にあたり、機能集約や複合化を検討します。

## ③施設の長寿命化について

施設の長寿命化を図るため、事後保全的な維持管理から予防保全的な維持管理に転換します。

## ④社会的なニーズへの対応について

施設の長寿命化改修に併せ、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化、施設の脱炭素化等に係る改修を実施するものとします。

ただし、経費の平準化や社会的要請の高まり等の要因により個別に対応を実施する場合があります。

### 3. 4 対策内容と実施時期

No	施設名称	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
1	埋蔵文化財調査室	機能移転まで適切な維持管理を実施								
							既存施設の解体			

※ 施設の老朽化に伴う小規模改修に係る経費は都度必要となります。当施設は、歴史民俗博物館と機能集約を図る施設として、当該施設の維持管理においては、最低限の修繕を実施しながら、長寿命化を図ることとします。

※ 本計画における長寿命化改修や建替え等については、市の財政状況を見ながら、対策に係る経費が平準化されるよう、計画的に対策を実施するものとします。

### 3. 5 対策費用

計画期間における概算費用は、約6百万円です。

ただし、現在の市の財政状況では全ての対策を実施することは困難なため、市の公共施設全体で統廃合や複合化を更に推進し、総量縮減を図る必要があります。